ファイナンシャルプランナーが解説

将来に向けて マネープランを考えよう

夢の実現や子どもの養育、老後の生活などいざという時のために計画を立てておかないと生活そのものが成り立たない場合も。マネープランを考えることで、将来の見通しや必要な資金を知ることができます。

監修

世継祐子（よつぎゆうこ）さん
ファイナンシャルプランナー
がん情報ナビゲーター

福岡県出身。久留米市役所での勤務経験を経て、法政大学法学部を卒業。2002年にファイナンシャル・プランナーの資格を取得。企業や個人の顧問ファイナンシャル・プランナー、各種セミナーの講師を務める。NPO法人「キャンサーネットジャパン」認定の「がん情報ナビゲーター」の資格を取得。テレビ・雑誌などのメディア取材多数。
http://www.ff-fukuoka.com

子どもが来年、小学生になることもあり住宅取得を考えています。住宅費用はどのくらいの金額を考えればいいのか。教育、老後資金とのバランスなどを含めてどのように考えればいいのかアドバイスをお願いします。

福岡市在住36歳 男性（会社員）

普通に働いて、普通に生活してきたつもりなのに、計画を立ててお金を使わなかったばかりに選択を誤り、老後破産する時代になっています。自分と家族が「いま」も「これから」も安心して幸せに暮らせるようマネープランを立ててみましょう。「先のことは考えてもわからない」と諦めずにざっくりと長期的な見通しを立ててみましょう 。

将来に備えて長期的なプランを描くこと

「わからないから」と計画を立てずにいきあたりばったりでお金を使っていると、将来的に家計が破綻しまうことも。「なんとかなる」と思っていても、お金のことは「どうにもならない」ことも多いのです。

何がおこるかわからないからこそ、将来の心配ごとを具体的に考え洗い出し、なにを優先してどのくらいお金を使っていきたいかを考え、長期的なマネープランを立てましょう。

大切なのは「ざっくりと長期的な見通しを立てておくこと」、変更があったらその都度見直していきましょう。

人生の3大支出「住宅費」「教育費」「老後資金」

マネープランを考える上で、ポイントとなるのが人生の3大支出と言われる「住宅費」「教育費」「老後資金」です。

住宅費はローンの返済など長期的な支出になり、教育費は子どもの人数によっても変わります。年金生活は給与収入より少なくなり、無計画な支出は老後破綻のリスクを招きます。この3大支出を軸に見通しを立てていきましょう。

住宅費 ローンを返済できる金額・期間で検討

購入せず、賃貸に住む場合も生涯の家賃合計額は莫大な金額になります。住宅ローンを組んだ場合も65歳以降ローンを支払う場合、基本は年金から払うことになります。

平均年収が400万円程度の方なら、社会保険料などを引いた年金の手取り額は月額12万円位、銀行が融資してくれる「借入金額」は、自分の「返済可能額」ではありません。「いずれ繰り上げ返済すればいい」と考えがちですが、繰上げ返済にお金をまわすと老後資金を貯める余力は残りません。自分が返済できる金額、期間で「住宅費」は検討することが大切です。

教育費 大学進学時に自分の年齢を把握しておく

どのような教育を受けさせたいか、よく考えて資金を準備しましょう。小中高大学と進学した場合、教育費のピークは大学となります。特に大学入学時は授業料とあわせて入学金や受験費用も必要になります。

まずは子どもが大学進学時に自分は何歳になっているのか、大学4年間でいくら位授業料がかかるのか、ざっくりとした金額を把握することから始めましょう。常に子どもの人数分の費用を考え「ここまでは出す。ここからは出さない」と予算を設け、進路が変わることを前提に2、3年に一回は見直すことを心がけましょう。

老後資金 将来自分がもらえる年金額を確認

年金生活に入ると給与収入がなくなり、給与より年金額は少なくなります。まず「ねんきん定期便」などを利用し将来の年金額をざっくりと把握しましょう。

共働きか、妻が扶養の範囲で働いているかなどによって世帯の年金受取額は大きく変わってきます。老後までに住居費用や教育費の支払いが終わっていれば、年金収入を好きなこと楽しいことに使うことも可能です。

月々25万円生活費を使いたいのに、予想の年金額が23万円しかないとしたら月3万円、90歳までで3万×25年分の900万円が不足するので今から計画的に貯める準備をしましょう。

今回のまとめ

「収入」が同じでも生活費や教育費、住宅費用などのお金の使い方「支出」の違いで貯蓄額は大きく変わってきます。お金を稼ぐことは大変ですが、お金を使うことはカンタンです。「なんとなく」お金を使う人と、「よく考えて」使う人では将来の生活に大きな差がでます。

毎月の家計管理だけでなく、長期的なマネープランも立ててみましょう。

計画的に準備し使うことで心にも懐にも余裕がうまれます。